

発行元:株式会社アークフラッシュ本部

発行責任者 : 笹川 透

NHKの放送

3月29日の7時30分よりNHKの朝の放送で “住まいのニオイを最新技術で消す”のタイトルで、Arc-Flash本部の施工などが映像としてながされました。マンションの動物やタバコのニオイをアークフラッシュ施工してなくすところ等放送したものです。

3月24日・25日・27日と連日の取材でした。光触媒の関心の高さから各方面からの問い合わせが殺到して嬉しい悲鳴をあげました。

4月5日午後5時から再放送が放映されより具体的な商談情報が本部にきておりますので、会員各社の奮っての問い合わせをお待ちしております。

異文化

お礼を言わない中国人

日本人同士なら御馳走になった翌日、あるいは数日後、電話でもてなしに感謝する気持ちを伝えたり、お礼の品を送ったりすることも珍しくない。長い中国生活をされた方々の貴重な経験によれば、中国人の10人のうち9人までが、お礼の言葉すら言わないそうだ。これが日本人同士だったら、あの礼儀知らずが、と厄介なことになりかねない。

しかし、中国人には中国人の厳然とした作法があって、意識的にお礼をしないのがあたりまえなのだ。

日本の習慣に引っ張られて感謝の気持ちを伝える電話などをしたりすると、それは、今度また招待してほしいという「おねだり」になってしまうらしい。

律儀に感謝の気持ちを伝えると、相手はなんて図々しいやつだ、と思うらしい。

さて、環境浄化という面では中国、台湾ではSARS問題等があり、多くの軍事施設、病院、学校などでアークフラッシュ敷設が施されております。

残念ながら日本では危機管理という事では、世界でビリ組に属し他社がやらなければ検討も行わない、事故が起きてから対策を講じるといった風潮の為に海外に比べ開発国であるのにもかかわらず対応が遅れております。

光触媒のアークフラッシュの施工技術を使ってより快適な空間の創造をして、ともに“ありがとう”の世界を創りたいものです。

アフリカのウイルス

アンゴラと国連当局者は22日、南部アフリカのアンゴラ北部でマールブルグ・ウイルスに感染したことが原因で96人が死亡したと明らかにした。

マールブルグ・ウイルスは、出血性の熱を呈する「高病原性」かつ「高伝染性」のウイルスで、致死性の高いエボラ出血熱と同じ型。体液を通じて感染するが、感染はこれまでほとんどなかった。

感染は、死者が出ている北部のウイジェ州から拡大する恐れが出ており、当局者はロイター通信

に、「潜伏期間は21日なので、近隣の州や、特にルアンダで調査を強化する必要がある」と語った。ウイジェ州では、これまでに107人が感染し、96人が死亡している。このウイルスに対する治療法は、確立していない。

さきの第10回展示会において、アークフラッシュの施工に関してアフリカ南部ガーナよりのご照会があり、現在商談が進行中です。細菌に対する対応はかなりの実績を有していますので、それぞれの国々の幸せを願ってアークフラッシュの進出が待たれるところです。